

コロナ禍における高級茶の売れ行きの変化

台湾茶ブームの影響で 高まる高級茶人気

日本でも飲まれる機会が多い、烏龍茶、茉莉花茶、プーアル茶は、自動販売機、コンビニエンスストア、スーパーなど、今では扱っていないところを探すのが難しいほど、一般消費者におなじみの飲み物として定着しています。

一方で、高級茶については、飲食店や中国茶に精通している一部の消費者にしか知られていないのが現状。それは、中国でも、高級茶は安価なお茶の陰に隠れ、とくに日本国内で販売している業者が少ないことも影響していると思われる。

ところが、近年の台湾茶ブームのおかげもあり、日本国内で台湾の高級茶の愛好者が増えはじめます。中でも、凍頂烏龍茶、東方美人、文山包種茶、木柵鉄観音、阿里山高山茶の人気が高く、問い合

わせが入りはじめた当初は驚いたものです。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による菓ご

もり消費により、中国大陸の高級茶の知名度もアップします。その背景には、外食の機会が減り、家で高級なお茶を楽しみたいという一般のお客様が増えたことが挙げられます。



酒類提供の禁止が 高級茶の需要拡大に

しかし、高級茶に注目したのは、一般消費者だけではなく、2021年のGW前に発令された緊急事態宣言以降、外食業界の方々から中国の高級茶の注文が相次ぐようになったのです。と



上海山茶業株式会
社取締役 張文昕
長室中国茶業

1988年上海より来店。名門中国料理の勤務を経て現任。生涯学習講師、中国茶高級評茶員。特技は卓球、イラス。好きな食べ物は魚定食。

くに注文が多かったのが、浙江省の安吉白茶や明前龍井茶、安徽省の霍山黄芽や六安瓜片、福建省の金駿眉や白毫銀針、広東省の嶺頭単叢。四川省の峨眉山の竹葉青などで、いずれも単価の高い高級茶。高級茶の注文が増えたことをお客様にお尋ねしたところ、緊急事態宣言の施策内容に「酒類提供の禁止」が加わったことが理由とのことでした。つまり、アルコール類の売り上げがゼロになるので、高級な中国茶や台湾茶の販売で補填し、この難局を乗り越えたい、ということ。

酒類提供の禁止は お茶業界も変える!?

観光業や飲食業界が経営不振の今、高級茶が脚光を浴びるのは複雑な心境ですが、カジュアルに楽しめるものからハイグレードなものも含め、台湾や中国のさまざまな種類のお茶を現地から直輸入で

きることは、弊社の最大の武器です。そして、このコロナ禍において、皆さんのお店の売り上げ回復をお手伝いすることが、至上のミッションだと思っています。

緊急事態宣言の解除が見えず、今後も時短営業や酒類禁止は続くかもしれませんが、どんな状況においても、最善の努力を尽くし、お客様に満足していただける安全で上質な中国と台湾の高級茶を揃え、ご提案していくこと。そして、飲食業界、ひいては中国料理業界の経済活動の回復に微力ながら貢献していきたいと思っています。

